

保育現場で求められる音楽能力と指導力の向上をめざして

向 山 裕 子

四條畷学園短期大学

Improving music and teaching skills required in nurseries

Hiroko Mukoyama

Shijonawate Gakuen Junior College

四條畷学園短期大学紀要 第 50 号 別刷

平成 29 年 12 月 25 日

保育現場で求められる音楽能力と指導力の向上をめざして

向山裕子*

Improving music and teaching skills required in nurseries

Hiroko Mukoyama

1. はじめに

保育現場において音楽は大きな位置を占めている。「おはよう」「いただきます」「おかたづけ」「おかえり」など、何をするにも音楽が関わり、生活リズムを作っている。さらに運動会、生活発表会、季節ごとの行事にも音楽が中心になっている。

このように子どもたちは、生活にリズムを感じ、自分の思いを表現し、友達や保育者と共有する喜びを音楽から与えられている。まさに園生活は「音楽と共にある。」といっても過言ではない。このような保育現場で行なわれる様々な音楽活動において、その要となるのが保育者の音楽能力である。その良し悪しが時として子どもたちの生活リズムを左右し「心の教育」「コミュニケーション力」「共感・共有能力」の発達にも大いに影響を与える。

では保育現場で現実に必要なとされる音楽能力とはどのようなものであろうか。

2. 歌唱

保育現場において、歌唱は最も身近な音楽表現である。歌唱指導の際、子どもたちは保育者の歌う様子や口元をじっと見つめ、真似ながら一緒に口ずさもうとする。歌詞が分からなくても耳でキャッチした言葉を発しながら歌い、好奇心を持って歌声に目や耳を傾け模倣しようとする。

一方保育者は、自然で美しい歌声、豊かな表現能力、子どもの様子を総合的に捉え、表現することを促すことのできる力が必要とされる。

しかし現実の子どもたちはどうだろう。元気良く歌おうとするあまり、大きな怒鳴るような声で、音程やメロディーを感じられない声で歌っている

のを良く耳にする。本学の音楽教員は、実際に付属幼稚園で音楽指導を行い、併設されている音楽教室でも子どもたちに指導を行なっている。そこで実践している発声法を紹介しよう。

●発声「かえるのうた」を使って（譜例1）

へ長調→お母さんかえる…お母さんのように優しく歌うように声がけをする。

ト長調→お姉さんかえる…お姉さんのようにもっと優しく歌うように声がけをする。

イ長調→お父さんかえる…お父さんのようにかっこよくゆったり歌うように。

1 オクターブ高いイ長調→赤ちゃんかえる…赤ちゃんのように弱く小さく。

譜例 1 かえるの合唱 岡本敏明 作詞 ドイツ 曲

* 四條畷学園短期大学 非常勤講師

●読譜

ピアノを弾くにはまず楽譜を正確に読み取る「読譜力」を付ける必要がある。本学ではピアノ初心者への学びの助けになる様、独自の冊子を用いている。その一部と授業内容を紹介する。

- ①拍子を取る…拍の概念の認識。
- ②指番号順に弾く…手を見ずに指を動かす。(譜例3)
- ③音階を弾く…指くぐりが出来るようになる。(譜例4)
- ④主要な和音をマークで覚える…手の形で和音をつかめるようにする。(譜例5)

譜例3 指のウォーミングアップ

指番号順に弾いてみましょう。

1. 1 2 3 4 5
2. 1 2 3 4 / 5 4 3 2 / 1 2 3 2 / 1
3. 1 3 1 3 / 5 3 5 3 / 1 3 5 3 / 1



譜例4 音階を弾いてみよう 八長調

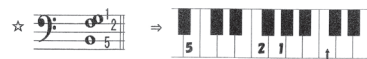
/ の形まで弾いたら、1の指を3の指の下にくぐらせて、次の音を弾いてください。
逆から弾く場合は / の形で、1の指の上から3の指をかき上げて、次の音を弾いて下さい。

- (右手) 1 2 3 / 1 2 3 4 5
ド レ ミ . ファ ソ ラ シ ド
- (左手) 5 4 3 2 1 / 3 2 1
ド レ ミ ファ ソ . ラ シ ド
- (両手) 1 2 3 / 1 2 3 4 5



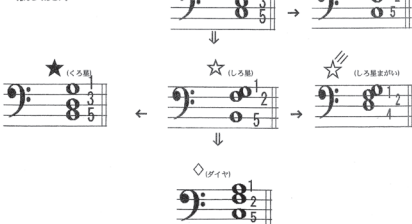
譜例5 和音の形をマークで覚えよう

まず、♡・◇・☆のマークの和音を覚えてください。
※ 和音をマークで覚えるとは鍵盤のどこに指を置くのかを覚えることです。



よく使う和音

ピアノの和音によく出てくる和音を覚えてください。



1回目の授業で以上を学ぶことで、バイエルの中盤以降から始めることが出来る。

音名はト音記号の線の音、ミ・ソ・シ・レ・ファ・ラ・ドを覚える。ヘ音記号はドミソの和音を覚え、そこから数える。音符カード等で少しずつ数えなくても読めるようにする。

リズムは言葉に置き換えて読む。同じテンポで手を叩きながら言葉を言うことで、リズムを理解しリズム感を養う。(譜例6)

譜例6 リズム遊び…1

○ 拍を一定の速さで手をたたきましょ。
それができたら、手をたたきながら言葉を言ってみましょ。

- | | | | | |
|---|------|------|------|------|
| ① | しーたけ | しーたけ | しーたけ | しーたけ |
| ② | まつたけ | まつたけ | まつたけ | まつたけ |
| ③ | パン | パン | しいたけ | まつたけ |
| ④ | パッ カ | パッ カ | しいたけ | まつたけ |

リズム遊び…2

音符に色を覚えよう…

- | | | | | |
|---|---|---|---|---|
| ① | ○ | ○ | ○ | ○ |
| ② | ○ | ○ | ○ | ○ |
| ③ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| ④ | ○ | ○ | ○ | ○ |

音を読むときは、ドレミで歌い、音の高低を体で感じる。そして、リズムの上に音を乗せて歌えるようにする。

●演奏

読む・歌う・手を叩く・弾くは学生一人一人の習熟度が異なる為、その学生に合った適切な指導をすることが、最も大切である。このような練習方法を継続して行なうことで、譜読みが早くなり、ピアノを弾くための基礎力が付いてくる。

その上で、学生の能力に合った選曲と、一音も間違わずに楽譜通り正しく演奏するというだけでなく、コード等を用い原曲に近い効果が得られるような演奏能力や、止まらないで演奏する事を指導する。

4. まとめ

忠実な譜読みと正確な演奏は出発点であり、実際には子どもたちが歌うことの快さを感じることが出来るよう、子どもの息遣いや姿から適切な速さとフレーズ感を感じ取り、音量のバランスにも配慮して、臨機応変に対応出来る能力が必要である。

演奏技術のみではなく、より現場が求めている総合的、実践的指導力を身につけるための具体的な指導法の研究を、これからも探求していきたい。

<引用・参考文献>

- 1) 澤田まゆみ「保育士・幼稚園教諭に求められるピアノ・スキルとは何か」『新島学園短期大学紀要第33号 p.57-66』(2013)
- 2) 中野研也・河野久寿「保育現場で必要とされる音楽能力と、幼児音楽教育との関連」『仁愛女子短期大学研究紀要第44号 p.71-78』(2012)
- 3) 榎内光子ら「保育音楽の現場実践力の向上をめざして養成校の試行」『徳島文理大学研究紀要第80号 p.7-15』(2010)
- 4) 岸井勇雄・大久保稔編「音楽（音楽リズム）」執筆東保 p.106-164 チャイルド本社

－ 2017. 10. 25 受稿、2017. 10. 31 受理 －

